

まもる通信

Homepage <http://www.saito-mamoru.jp>

<齊藤守後援会>

- 坪井事務所 / TEL. 047-461-3110
〒274-0060 船橋市坪井東2-14-10 FAX.047-461-3118
- 市場事務所 / TEL. 047-460-3110
〒273-0001 船橋市市場5-1-21 FAX.047-460-0732

県議会から船橋づくりを



未来を拓く



決意を新たにふるさと船橋づくりを

平成11年から3期12年、船橋市議会議員として活動させていただいております。改めて、みなさまの温かい、変わらぬご支援に感謝申し上げます。みなさまのご意見やご助力のおひとつおひとつの積み重ねが、私の議員活動の支えとなってまいりました。誠にありがとうございました。

さて、改めて私の議員活動を振り返って

みますと、教育、介護、環境、街づくりといった諸問題に取り組ん

でまいりましたが、みなさまの声をたよりに、そして何よりもみなさまの笑顔を大切に、住み続けたい「ふるさと船橋」づくりを目指して額に汗してまいりました。いまだ道半ばとは思いますが、取り組んできた課題は、しっかりと解決してきたと自負しております。

しかしながら、市政に取り組んでいく中

で、市議会議員として直ぐに解決できる多くの課題だけではなく、千葉県や国の力を借りなければ実現できない課題も少なからずございました。

私は、3期12年の市議会議員としての活動を支えに、「ふるさと船橋」の更なる発展のため、千葉県に活動の場を移し、次代に誇れる「ふるさと船橋」づくりのため、みなさまの声を聞き、みなさまとともに考え、みなさまのために働いてまいりたいと決意いたしました。

まもる

とう

さい

齊藤守

次の世代へ誇りを持って引き継いでいける「ふるさと船橋づくり」を

まもるの船橋八策

1 船橋の教育をまもる

学校の負担が大きくなっています。親のしつけや地域ぐるみの子育てが問われています。子どもたちが生き活きと学び、未来を切り開く「力」を育てるために、今、教育が問われています。

2 船橋の育児をまもる

少子高齢化社会が進んでいます。若者が安心して子育てができる環境整備が問われています。働く夫婦が安心して子育てをする環境整備が求められ、今、育児が問われています。

3 船橋の弱者をまもる

街には危険があふれています。道路鉄道社会のバリアフリーが問われています。お年寄りや障害をお持ちの方々が生きがいを持って、経験や能力を活かして共に生きる社会が問われています。

4 船橋の自然をまもる

消費社会への警鐘が大きくなっています。豊かな自然を次世代に残せるか、地球にやさしい「社会の実現」が、改めて問われています。異常気象が続く今、地球温暖化に待ったをかける実行力が問われています。

5 船橋市民の生命をまもる

事故犯罪災害、危険が増えています。子どもや高齢者、市民みんなが安心して生活し続けられる社会が問われています。事故や事件を未然に防ぎ、万が一の防災や防犯に備える、自助、共助公助、地域の助け合い力が問われています。

6 船橋の農業と経済をまもる

船橋には地産地消のポテンシャルがあります。道路網鉄道網が充実し、豊かな自然に恵まれ

7 船橋の政治をまもる

スリムで効率的な自治が求められています。千葉県の中で、中核市「ふなばし」の実行力が問われています。きめ細やかな「区」の力や国県から自立したふなばしが求められています。「コスト意識のある自治体、市民の目線にあった自治体、行政改革を進め、合併で実現できる政令指定都市を目指します。」

8 千葉県と船橋市をまもる

千葉県は可能性を秘めています。農業も、工業も、水産業も、商業も、そして観光も、千葉県民620万人に、船橋市民60万人の力が求められ、実行性が問われています。まだまだ伸びる千葉県の可能性を引き出し、船橋とともにバランスのとれた発展を遂げ、60万市民の心の「ふるさと船橋」づくりを進めます。

て、産業と消費が共存する地域の経済力が問われています。船橋ブランド「梨」「小松菜」「駅前商店街の底力、船橋で作って、船橋で消費する、産業の発展ができる生産力消費力を兼ね備えた社会を目指します。

て、産業と消費が共存する地域の経済力が問われています。



議会で発言する斉藤守議員



合併政令指定都市調査研究特別委員会で堺市の担当者から現状の説明を受ける



サカタのタネ総合研究センターで説明を受ける



千葉県地方議員連絡協議会の一員として台湾視察アジアと日本の安全について、李登輝元総統と懇談



船橋市の公共施設では初となる太陽光発電システムが導入される「坪井公民館」2月完成予定

出合いを大切に、ひとつひとつ積み重ねる政治活動

斉藤 守 <プロフィール>

- 昭和28年2月10日生まれ
- 同志社大学法学部政治学科卒
- 家族/妻、1男2女

- 経歴**
- 衆議院議員秘書
 - 船橋市立坪井小・中学校PTA会長
 - 船橋市PTA連合会会長
 - 船橋市社会教育委員
 - 船橋市サッカー協会会長
 - 船橋市水泳協会副会長

- 市議会**
- 平成11年市議会 初当選 文教委員会副委員長
 - 平成15年市議会 2期目当選
 - ・ 市民環境経済委員会委員長
 - ・ 四市複合事務組合議員
 - ・ 予算特別委員会委員長
 - 平成19年市議会 3期目当選
 - ・ 議会運営委員会委員長
 - ・ 建設委員会委員
 - ・ 農業委員会委員
 - 合併政令指定都市調査研究特別委員会委員長

- 所属団体**
- 船橋東ロータリークラブ
 - 船橋商工会議所
 - 社団法人船橋法人会
 - 千葉県中小企業同友会
 - 船橋市北倫理法人会
 - 日本会議

市政報告会<2010.10.31>で「県議会から船橋づくり」の決意表明

平成22年10月31日(日)、西船橋のフローラ西船にて斉藤守議員の市政報告会が開催されました。「県議会から船橋づくりを」の決意を、斉藤守議員が熱く表明すると、会場は大いに盛り上がりました。

支援を訴える



船橋市長 藤代 孝七

千葉県議会議員 田久保 尚俊

私たちも応援します

- 元衆議院議員 江口 一雄
- 前衆議院議員 藤田 幹雄
- 前千葉県議会議員 田口 賢